

Hoshino Michio The Eternal Journey

特別展

# 星野道夫



春のアラスカ北極圏、群れにはぐれてさまようカリブー

## 悠久の時間を旅する

私はいつからか、自分の生命と、  
自然とを切り離して考えることができなくなっていた

2021 9.28 TUE — 11.7 SUN

関連事業の最新情報や、新型コロナウイルス感染拡大の影響による変更事項等については、当館ウェブサイトにてお知らせします。

休館日 | 月曜日 開館時間 | 9:00—17:00(入場は閉館30分前まで/10月30日は19:00まで開館) 会場 | 地下1階展示室  
観覧料 | 一般 1,000円、65歳以上\*900円、大学・専門学校生\*500円、高校生以下\*無料

\*年齢や所属を確認できる証明書や学生証等をご持参ください。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。

※本展観覧券で同時開催の岡山の美術 特別展示「草間結雄 美しき色彩のコンポジション」もご覧いただけます。

主催 | 岡山県立美術館 協力 | 星野道夫事務所 企画協力 | クレヴィス

後援 | 岡山県教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟



岡山県立美術館  
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



1



2



3

一枚の写真に導かれたアラスカとの出会いから急逝まで24年、  
極北の自然に魅せられた写真家の軌跡を辿る展覧会。



4



5



6

1. アラスカの原野に生きる狩猟民族の古老ピーター・ジョン(96歳)/2. クジラの肋骨が立つ浜。ロシア、チュコト半島に近いイティグラン島/  
3. ドールシープ/4. 草むらに潜むグリスリー/5. タテゴトアザラシの親子/6. ホッキョクジリス 写真:星野道夫

関連イベント ※いずれも要申込み、応募多数の場合は抽選となります

### 記念講演会「悠久の時を旅する 星野道夫が見続けた風景をたどって」

講師 | 星野直子氏(星野道夫事務所代表)

日時 | 11月3日[水・祝] 13:30~15:00(13:00開場) 会場 | 2階ホール(定員180名) ※要本展観覧券(半券可)

### ワークショップ「スライドトークと鹿革小物づくり」

移住、狩猟、命への感謝と、活用のこと。星野道夫さんがカメラで捉えた世界は、私たちから遠く離れたものでは決してありません。「岡山で自然と共に生きること」について、お話しと小物づくりを通して考えます。

(ご注意) 鹿の血液が写った画像がスライドトークに含まれます。

講師 | 渋谷肇氏(革職人、西栗倉村在住)

日時 | 10月23日[土] 10時の回/14時の回、11月6日[土] 10時の回/14時の回

会場 | 地下1階講義室(各回定員20名) 対象 | 小学校中学年以上 材料費 | 1,500円

### お申込み方法 締切は10月10日[日]必着

メールか往復はがきを使い、メール本文もしくは往復はがき往信面に

①参加イベント名(ワークショップの場合は参加する日と、時間) ②郵便番号・住所  
③氏名(1通につき2名まで可) ④電話番号 ※メールの場合は件名にイベント名も記入  
以上を明記のうえ、下記までお申込みください。当落のご連絡をいたします。

お申込み先 | 岡山県立美術館「星野道夫展 関連イベント係」(メールは [kenbi-entry@pref.okayama.jp](mailto:kenbi-entry@pref.okayama.jp) まで)

星野道夫は、アラスカで暮らし、大自然に生きる動物を撮影した写真家です。

北極圏の大地や、野生動物と共生する人々の暮らし、語り継がれた神話——。星野はその鋭敏な感性で生命の輝きを捉えるとともに、数々の出会いを通じて思索を深めながら、「自然と人の関わり」を追い続けました。彼の残した写真と言葉は、没後25年を迎えた今もなお多くの人々の心を動かし、今日的な課題へと向き合う私たちの背中を優しく押してくれています。

本展は、日本にいた20歳の星野がアラスカのシシュマレフ村村長と交わした手紙をはじめとする貴重な資料を交えて、初めて足を踏み入れたアラスカから、事故で亡くなる直前まで撮影していたロシアのカムチャツカ半島までの写真を一望するものです。未完の作品群によって星野の足跡を辿りながら、彼の終わりのなき旅をご紹介します。

### 星野道夫(ほしの・みちお)

1952年、千葉県市川市生まれ。19歳のときに目にしたエスキモーの村の空撮写真に惹かれ、村長宛に手紙を書く。20歳の夏休みにアラスカに約3か月滞在。帰国後、写真家になる決意をし、慶應義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏の助手を2年間務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章で記録し発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマに襲われて急逝。アニマ賞・木村伊兵衛写真賞受賞。



### 交通案内 JR岡山駅後楽園口(東口)から

徒歩 | 約15分

路面電車 | 東山行「城下」下車徒歩約3分

宇野バス | 四御神、瀬戸駅、片上方面「表町入口」下車徒歩約3分

岡電バス | 藤原団地行「天神町」下車すぐ



〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

TEL:086-225-4800

FAX:086-224-0648

Email: [kenbi@pref.okayama.lg.jp](mailto:kenbi@pref.okayama.lg.jp)

<https://okayama-kenbi.info>

